

第10章 形容詞による修飾とイダーファ表現

第1節 形容詞による名詞の修飾

1-1 非限定／限定の一致

- 1) 与えられた意味になるよう、最初に挙げられた形容詞を適切な形にしてカッコに入れましょう。最初に挙げられた形容詞は、「非限定、男性、単数、主格」の名詞を修飾するときの形になっています。

كَبِيرٌ

① ある大きな家 (يَتٌ)

② その大きな家 (الْيَتُ)

③ ある大きな椅子 (كُرْسِيٌّ)

④ その大きな椅子 (الْكُرْسِيُّ)

1-2 性の一致

- 2) 与えられた意味になるよう、最初に挙げられた形容詞を適切な形にしてカッコに入れましょう。

قَدِيمٌ

① ある古い家 (يَتٌ)

② その古い家 (الْيَتُ)

③ ある古い町 (مَدِينَةٌ)

- ④ その古い町 (الْمَدِينَةُ)
- ⑤ ある古株の（男性）教師 (مُدَرِّسٌ)
- ⑥ その古株の（男性）教師 (الْمُدَرِّسُ)
- ⑦ ある古株の（女性）教師 (مُدَرِّسَةٌ)
- ⑧ その古株の（女性）教師 (الْمُدَرِّسَةُ)

1-3 格の一致

3) 与えられた意味になるよう、適切な形の形容詞をカッコに入れましょう。

- ① ある古い本（主格） () كِتَابٌ
- ② その古い本（属格） () اَلْكِتَابِ
- ③ ある古い町（対格） () مَدِينَةً
- ⑤ その古い町（主格） () اَلْمَدِينَةُ
- ⑥ ある古株の（男性）教師（属格） () مُدَرِّسٍ
- ⑦ その古株の（男性）教師（対格） () اَلْمُدَرِّسَ
- ⑧ ある古株の（女性）教師（主格） () مُدَرِّسَةٌ

⑨ その古株の(女性)教師(属格) (الْمُدْرَسَةِ)

1-4 数の一致

3) 与えられた意味になるよう、適切な形の形容詞をカッコに入れましょう。

① 2冊の古い本（非限定・属格） () كِتَابَيْنِ

② 2冊の古い本（限定・対格） () اَلْكِتَابَيْنِ

③ 古い本（限定・主格） (الْكِتَابُ)

④ 二つの古い大学（非限定・主格）

() جَامِعَتَانِ

⑤ 二つの古い大学（限定・属格） () اَلْجَامِعَتَيْنِ

⑥ 古い大学（限定・対格） () اَلْجَامِعَاتِ

⑦ 古株の（女）教師たち（非限定・属格） (مُدَرِّسَاتِ)

⑧ 古株の（女）教師たち（限定・対格） (الْمُدَرِّسَاتِ)

4) 次の文をアラビア語に訳しましょう。問題文の「その」「それらの」は定冠詞がついていることを意味します。

① その有名な教授(女) は美しいです。

- ② それらの大きな大学(複数) は有名です。
- ③ それらの美しい絵 (صُورَةٌ) (双数) は有名です。
- ④ 彼はそれらの美しい女の子(双数) といっしょにいます。
- ⑤ それらの大きな家(複数) は美しいです。
- ⑥ その大学には、大きな図書館が二つあります。
- ⑦ 彼は美しい車を持っています。

第2節 イダーファ表現

2-1 作り方の基本

5) 次のイダーファ表現に関する表の空欄を埋めましょう。

①

	(その) 少年の本(単数)
主格	
属格	كِتَابِ الْوَلَدِ
対格	

②

	(ある) 少年の鞆(単数)
主格	حَقِيْبَةُ وَلَدٍ

属格	
対格	

③

	(その) 少年の教師(単数)
主格	
属格	
対格	مُدَرِّسَ الْوَلَدِ

④

	(その) 会社の職員(女・単数)
主格	
属格	
対格	مُوظَّفَةَ الشَّرْكَةِ

6) 与えられた意味になるよう、発音記号をつけましょう。

① (その) 辞書は (その) 少年の本の下にありますか？

هل القاموس تحت كتاب الولد؟

② (その) 辞書は (ある) 少年のかばんの中にあります。

القاموس في حقيبة ولد.

③ 彼は（その）少年の教師ではありません。

ليس مدرس الولد

④（その）会社の職員（女）は（その）少年の教師といっしょにいます。

موظفة الشركة مع مدرس الولد.

⑤（その）会社の職員（女）は（その）少年の教師といっしょにいません。

ليست موظفة الشركة مع مدرس الولد.

2-2 双数形あるいは男性語尾複数形が最初に置かれる場合

7) 次のイダーファ表現に関する表の空欄を埋めましょう。

①

	(その) 少年の本(双数)
主格	
属格	
対格	

②

	(ある) 少年の鞆(双数)
主格	
属格	
対格	

③

	(その) 少年の教師たち(複数)
主格	
属格	
対格	

④

	(その) 会社の職員たち(女・複数)
主格	
属格	
対格	

8) 例にならって与えられた意味になるよう、二つの語をつなぎましょう。

(例) 少女(限・単)の犬(単) ⇒ +

كَلْبُ الْبِنْتِ + كَلْبٌ ⇒ كَلْبُ الْبِنْتِ

①少女たち(限・双)の犬(単)

كَلْبٌ + الْبَنَاتِ ⇒

②少女(限・双)の犬たち(双)

كَلْبَانِ + الْبَنَاتِ ⇒

③少女（限・単）の先生たち（双）

مُدَرِّسَتَانِ + الْبِنْتُ ⇒

④少女（限・単）の先生たち（複）

مُدَرِّسَاتُ + الْبِنْتُ ⇒

⑤少女（限・双）の先生たち（双）

مُدَرِّسَتَانِ + الْبِتَانِ ⇒

9) 与えられた意味になるよう、必要な語を後に続けて文を完成しましょう。

①その猫は少女（限・単）の犬たち（双）の後ろにいる。

..... الْقِطَّةُ وَرَاءَ

②彼女らは少女（限・単）の先生たち（女・複）ではない。

..... لَسْنَ

③彼らは少女（限・単）の先生たち（男・複）ではない。

..... لَيْسُوا

④私は少女（限・双）の先生たち（男・複）といっしょにいる。

..... أَنَا مَعَ

第3節 イダーファ表現の応用

3-1 イダーファ表現と形容詞を組み合わせる場合

10) 次の日本語の表現をアラビア語に訳しましょう。下線部が修飾関係にあるものとします。

- ① (その) 有名な大学 (限・単) の教授 (男・単) は勤勉 (مُجْتَهِدٌ) だ。
- ② (その) 大学 (限・単) の 有名な教授 (男・単) は勤勉だ。
- ③ (その) 有名な大学 (限・単) の教授 (女・単) は勤勉だ。
- ④ (その) 大学 (限・単) の 有名な教授 (女・単) は勤勉だ。
- ⑤ (その) 有名な大学 (限・単) の教授 (男・双) は勤勉だ。
- ⑥ (その) 大学 (限・単) の 有名な教授 (女・双) は勤勉だ。

3-2 イダーファ表現に指示詞をつける場合

8) 最初に挙げられたイダーファ表現について、与えられた意味になるよう指示詞（この、あの）をつけましょう。

سَيَّارَةُ الْأُسْتَاذِ

- ① この教授 の車
- ② 教授の この 車

بَيْتُ الْمُوظَّفَةِ

③ この従業員（女）の家

④ 従業員（女）の この家

كُتُبُ الْوَلَدِ

⑤ 少年の これらの本

⑥ この少年 の本

طَبَّاخُو الْمَطْعَمِ

⑦ レストランの これらの調理人たち

⑧ このレストラン の調理人たち